

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(GDP (IMF WEO)): <http://mylibrary.maeda1.jp/GDP.html> )

(MENA・イスラム圏: <http://mylibrary.maeda1.jp/MenaOicCountries.html> )

マイライブラリー:0453

(注)本稿は 2018 年 10 月 22 日から 31 日まで 5 回に分けて「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2018.11.3

前田 高行

## 世界主要国とMENAの GDP 成長率・一人当たり GDP(IMF 2018 年 10 月版)

IMF(国際通貨基金)では毎年 4 月および 10 月に世界各国の経済見通し「World Economic Outlook Database (WEO)」を発表しており、今年 10 月版(以下 WEO2018Oct)がインターネット上に公開された。

\* URL:

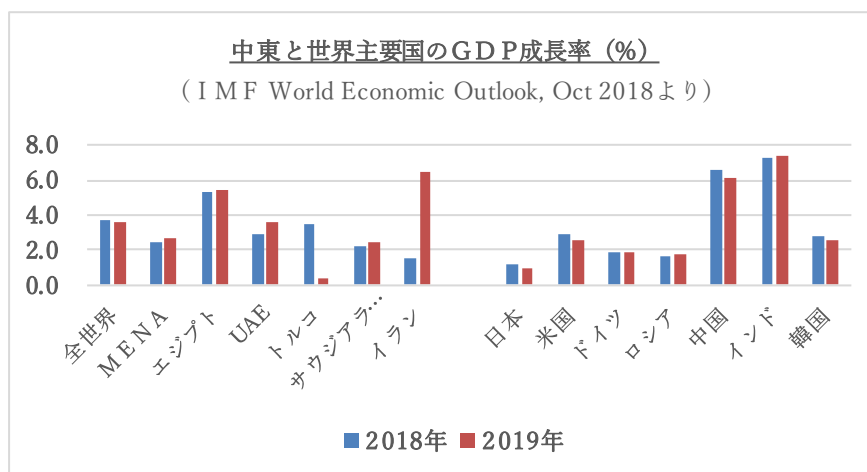
<https://www.imf.org/external/pubs/ft/weo/2018/02/weodata/index.aspx>

この中には GDP 成長率、ドル建て・各国通貨建ての GDP 金額、一人当たり GDP、貿易額、財政収支など数多くのデータがあり、特に当年度或いは次年度の経済成長率は官庁、メディア等々で広く引用されている。

ここでは 2016 年から 2020 年(予測)までの GDP 総額及び一人当たり GDP(いずれも current price, ドル建て)を取り上げ、また成長率については前回の 2018 年 4 月版(以下 WEO2018Apr)と比較して世界主要国およびMENA諸国の経済状況の変化を検証する。

(世界平均を下回る MENA の成長率！)

### 1. 2018/19 年の経済成長率(末尾表 1-B-2-08 参照)



#### (1)世界および主要地域・国の経済成長率

IMF は今年(2018 年)の世界の経済成長率を 3.7%と見ており、来年(2019 年)も今年と同じ 3.7%と予測している。地域別に見ると ASEAN5 各国は今年の 5.3%から来年は 5.2%とやや下向く見通

しであり、EU も同じく今年の 2.2%が来年は 2.0%に低下する見通しである。

国別に見ると今年より来年の成長率の低い国が多く、日本は 1.1%→0.9%、米国は 2.9%→2.5%といずれも 0.2~0.4%低下し、中国は 6%台の高い成長率を維持するものの今年の 6.6%に対し来年は 6.2%に低下する見通しである。これに対してインドは今年の成長率は 7.3%であるが、来年はさらに高い 7.4%と予測している。

## (2) MENA 諸国の経済成長率

IMF によれば MENA(中東北アフリカ地域)の成長率は今年の 2.4%に対し来年は 2.7%に上昇すると見込まれているが、両年とも世界平均の成長率を 1%以上下回っている。国別にみると今年にはイラン(-1.5%)とイエメン(-2.6%)がマイナス成長率であるが、それ以外の国はいずれもプラス成長と見込まれている(シリアはデータなし)。

各国の中でリビアの今年の成長率は 10.9%と際立って高い。但し同国の経済成長見通しは毎回大きく上下に振れ、同国の GDP を左右する石油の生産量が内戦状況で大きく低下しているため、二桁成長が可能か否かは疑問である。

MENA の大国であるトルコ、イランおよびエジプトの今年・来年の成長率はトルコが 3.5%→0.4%と大きく低下し、またイランは-1.5%→-3.6%とマイナス成長がさらに悪化する見通しである。これに対してエジプトは 5.3%→5.5%とかなり高い成長が持続すると見込まれている。トルコとエジプトの今年の成長率は MENA 平均(2.4%)を上回っており、来年はトルコが減速、エジプトは好調を続けるものと見込んでいる。

歳入のほとんどを石油・天然ガスに依存している GCC 諸国は今年の成長率が UAE 2.9%、カタール 2.7%、クウェイト 2.3%、サウジアラビア 2.2%といずれも 2%台の成長率である(オマーンは 1.9%、バハレーンは 3.2%)。GCC6 カ国の平均 2.5%であり MENA 平均(2.4%)とほぼ同じ水準である。2019 年についてバハレーンを除く 5 カ国は今年を上回る成長率が見込まれており、6 カ国平均は 2.5%→3.4%に改善する見込みである。

(世界の大半の地域と国で下方修正された成長率！)

## 2. 前回(2018年4月)と今回(2018年10月)の比較(末尾表 1-B-2-08 参照)

### (1) 世界および主要地域・国

上述のとおり今回(WEO2018Oct)の全世界の成長率見通しは今年(2018年)、来年(2019年)共に 3.7%である。これに対して前回(WEO2018Apr)の見通しでは両年の成長率は共に 3.9%であり、両年とも前回より 0.2%下方修正されている。

2018 年の見通しについて国・地域毎に前回と比較すると、国別では日本が 0.1%下方修正され 1.1%の成長率が達成されると見ている。このほかドイツ、インド、韓国の各国もいずれも下方修正されている。特にドイツは 2.5%→1.9%と大幅にダウンすると見られている。米国、中国及びロシアは4月の見通しを踏襲している。

来年 2019 年の予測については全世界の成長率は 4 月の予測から 0.3%下方修正して 3.7%とされており、日本の場合は 0.9%で変わりがない。中国は 6.4%→6.2%と成長率の鈍化を予測している。インド、韓国も前回の予測より 0.3%下方修正している。米国経済は先進国の中で例外的に高い経済成長率を保っているが、来年の見通しについては 4 月の+2.7%が今回は+2.5%に下方修正している。

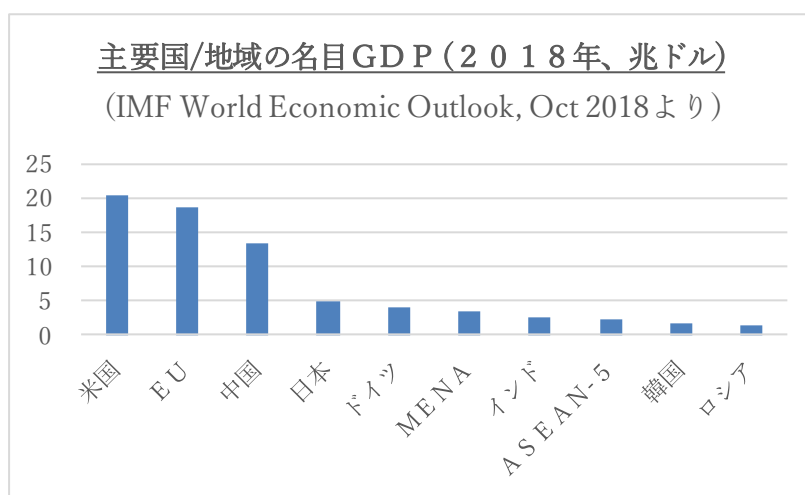
## (2) MENA 諸国

MENA 地域の今年の成長率は前回(4 月)の 3.2%に対し、今回は 2.4%と IMF では減速するとみнаしている。国別に見ると今年の成長率を前回より下方修正した国が多くを占めている。下方修正した主な国はリビア(16.4%→10.9%)、イラン(3.1%→▲1.5%)である。リビアは内戦で経済が疲弊しており、毎年 4 月の予想では年内の回復を見込、高めの成長率を想定しているが、10 月には混乱状態が収束しない実態を考慮して成長率を下方修正するサイクルが繰り返されている。イランは米国の経済制裁が強化されたため 4 月の段階ですでに成長率が低めに抑えられていたが、米国が 11 月から石油輸出の全面禁輸を打ち出し、日本を含めほとんどすべての国がイランからの原油輸入を手控える様相であり、イランの命運を握る原油輸出が急減、経済の低迷が避けられない情勢である。そのため成長率は 4 月のプラス 3.1%から今回はマイナス 1.5%に大きく悪化している。またリビアと同様国内経済が混乱しているイラク(4.0%→1.5%)、イエメン(▲0.5%→▲2.6%)なども今年度の成長率が下方修正されている。

来年(2019 年)の成長率予測を今回と前回と比較すると、上方修正された国と下方修正された国がほぼ同数である。但し下方修正された国々には下げ幅の大きな国が多く、従って MENA 平均では来年の成長率予測は前回 4 月の 3.6%から今回 10 月は 2.7%に低下している。成長率が大きく下方修正されたのはイラン(4.9%→▲3.6%)トルコ(4.0%→0.4%)などがある。

(米国と中国の2カ国だけで世界の GDP の 4 割！)

### 3. 2018年の各国の GDP (Current Price)(末尾表 1-B-2-09 参照)



IMF によれば今年の世界の GDP(at Current Price) 総額は 85 兆ドルである。地域別では EU が 19 兆ドル、全体の 22%を占めている。また ASEAN5 か国は 2.4 兆ドル(全体の 2.8%)、MENA 地域は 3.5 兆ドル(同 4.1%)である。

国別では米国が世界トップの 21 兆ドルで全世界に占める割合は 24%、同国一国だけで世界の GDP の 4 分の 1 を生み出し

ている。米国に次ぐ GDP 大国は中国の13兆ドルであり世界全体の16%を占めている。この2か国が世界でも突出している。日本は5.1兆ドルであるが、米国の4分の1あるいは中国の4割にとどまっている。EU の経済大国ドイツの GDP は4兆ドルであり、EU 全体の5分の1を占めている。その他の主な国を見るとインドは2.7兆ドル、韓国1.7兆ドル、ロシア1.6兆ドルなどである。

MENA18カ国(シリアを除く)の中で2018年の GDP が最も大きい国はサウジアラビアの7,700億ドルであり、トルコが7,140億ドルで続いている。この2カ国が MENA 全体に占める比率はそれぞれ19%と17%であり、両国は MENA 諸国の中では突出している。第3位は UAE の4,330億ドル、第4位イラク(4,300億ドル)はいずれもトルコ或いはサウジアラビアの6割程度にとどまっている。

5位以下11位まではイスラエル(3,660億ドル)、エジプト(2,490億ドル)、イラン(2,310億ドル)、アルジェリア(1,880億ドル)、カタール(1,880億ドル)、クウェイト(1,450億ドル)、モロッコ(1,180億ドル)であり、以上11カ国が年間 GDP1千億ドルを超える国々である。UAE、カタール、クウェイトなど人口の少ない産油国がイラン、イラクなど地域の大国と遜色のない GDP を誇っている。

GDP が1千億ドル未満の国は、オマーン(820億ドル)、レバノン(570億ドル)、リビア(430億ドル)、ヨルダン(420億ドル)、チュニジア(420億ドル)、パハレーン(390億ドル)、イエメン(290億ドル)である。MENA で GDP が最も小さいイエメンはサウジアラビアの30分の1である。

#### **(付)2018年の GDP 世界上位国と MENA)**(末尾表 1-B-2-12 参照)

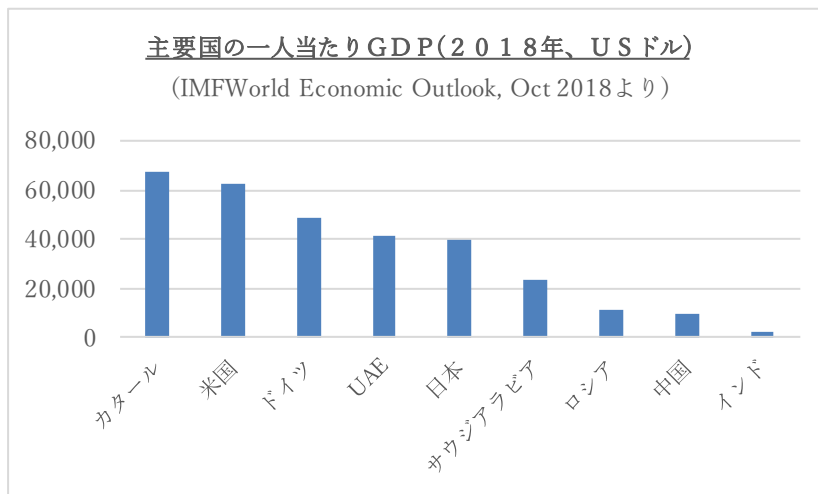
2018年の GDP の世界ベストテンは第1位が米国、第2位中国であり、以下3位日本、4位ドイツ、5位英国と続き6位から10位まではフランス、インド、イタリア、ブラジル及びカナダの各国である。

MENA 諸国ではサウジアラビアが世界18位に入っており、トルコも19位にランクされている。このほかの MENA 諸国は20位以下であり、世界50位以内に入っているのは UAE(世界29位)、イラン(世界30位)、イスラエル(同34位)、エジプト(同45位)、イラク(同50位)の5か国である。

(MENA で断トツのカタール！)

#### **4. 2018年の一人当たり GDP**(末尾表 1-B-2-10 参照)

日本の一人当たり GDP は40,106ドル、米国は62,518ドル、ドイツは48,670ドルである。米国は日本の1.6倍、ドイツは1.2倍である。また韓国は32,046ドルであり、米国の2分の1、日本の8割である。BRICsと呼ばれる有力新興国のロシア、中国、インドはそれぞれ10,950ドル、9,633ドル、2,016ドルである。インドは今年7.3%、来年7.4%と中国を上回る高い成長率が見込まれているが(上記1. 2018/2019年の経済成長率参照)、一人当たり GDP はまだまだ低く、中国の5分の1、日本の20分の1、米国の30分の1に過ぎない。



MENA 諸国の一人当たり GDP は各国間の格差が極めて大きい。LNG の輸出で潤うカタールの一人当たり GDP 67,816ドルは米国をしのぎ日本の1.7倍で世界のトップクラスである。MENA で一人当たり GDP が1万ドルを超える国はカタールのほか UAE(41,476ドル)、イスラエル(41,1

80ドル)、クウェイト(31,916ドル)、バハレーン(26,532ドル)、サウジアラビア(23,187ドル)、オマーン(19,170ドル)及びレバノン(12,454ドル)の8か国である。

上位7か国のうちイスラエルを除く6か国は GCC 諸国であり、石油あるいは天然ガスの恩恵を受けていることがわかる。特に6か国の中で人口がバハレーンに次いで少ないカタールは他を大きく引き離している。GCC6か国の平均一人当たり GDP は35,017ドルに達する。

しかし同じ産油国でありながらイラン、イラク、アルジェリアなどは一人当たり GDP が5千ドル前後であり、GCC と大きな格差がある。MENA で最も貧しいのはイエメンであり同国の一人当たり GDP(926ドル)は実にカタールの70分の1にとどまっている。

なお一人当たりGDPは各国のGDP総額を人口数で割ったものであるが、IMF統計における計算の母数となる人口についてGCC諸国の場合特に注意すべき点がある。例えばカタールの人口は約278万人(WEO10月版による)で同国の一人当たりGDP67,816ドルは同国のGDP(1,880億ドル。前項参照)をその人数で割ったものである。しかし同国人口のうち80%以上は出稼ぎ労働者が占めており、カタール国籍を有する自国民は50万人足らずと言われる。通常、統計上の人口は国籍を有する者のみが対象で一時的な出稼ぎ労働者は含まないが、カタールの一人当たりGDPには出稼ぎ労働者も含まれており実態を正確には表していないと言える。このことは同じように外国人比率が高いUAE或いはクウェイトについても言えることであり、3分の1が外国人であるサウジアラビアの場合も程度の差はあれ同様である。

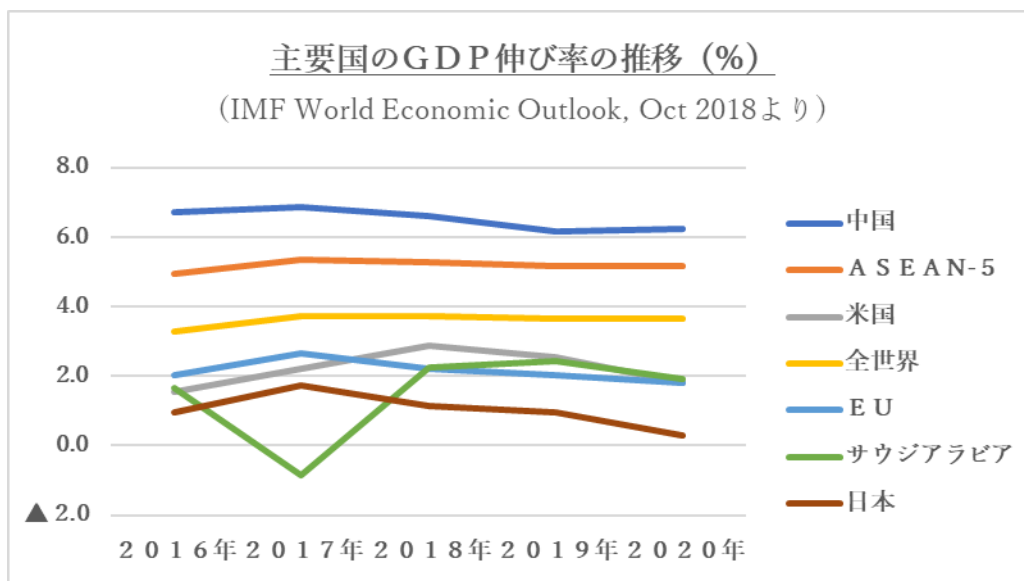
このような要素を加味してGDPを算出した統計は見当たらないが、カタール、UAE、クウェイトの実際の一人当たりGDPはIMF公表数値の数倍に達すると考えられ、これら湾岸産油国の一人当たりGDPが世界のトップクラスであることは間違いない。

## 5. 世界および主要地域・国の GDP 成長率の推移(2016~2020年)(末尾表 B-2-11 参照)

(世界の平均成長率は3%台後半で推移、中国は6%台を維持！)

### (1)世界および主要な地域・国

2016年(実績)から2020年(予測)までの5年間の経済成長率の推移を見ると世界全体では3%台で推移しており今年及び来年は3.7%である。



地域別で見ると2016年に4.9%の成長率を達成したASEAN-5か国はその後他の地域を大幅に上回る成長率を示し、今年及び来年は5.3%及び5.2%と予測されている。産油国を多く抱えたMENA地域は石油価格によって影響を受けやすく2016年の5.1%が2017年には一転して2.2%に急落、その後は穏やかな成長路線に戻り、2020年には3.0%になると予測されている。

日本の成長率は2016年の1.0%が2017年には1.7%に上昇したが、2018年以降、2020年までは1.1%→0.9%→0.3%と連続して低下する見通しである。日本の成長率は以下に述べるとおりインド、中国にははるかに及ばず、米国、ドイツなどと比べても見劣りする低い水準にとどまっている。

米国の経済は先進国の中でも特に好調であり5年間を通じてほぼ2%台の成長を維持し、特に今年及び来年は2%台後半の成長率が見込まれている。中国は2016年から2020年までの5年間を通じて6%台の高い成長が続くと見られているが、その成長率は2017年の6.9%から年々低下し来年は6.2%と予測されている。これに対してインドは5年間で7.1%(2016年)→6.7%(2017年)→7.3%(2018年)→7.4%(2019年)→7.7%(2020年)と2017年以外は中国の成長率を上回り、2017年を除き毎年7%以上の高い成長を維持している。ロシアは2016年(▲0.2%)はマイナス成長に陥ったが、2017年以降はプラス成長に転じ、2019及び2020年は1.8%の成長率が見込まれている。

(成長率急低下のトルコ、暗雲たれこめるイラン！)

## (2) MENA諸国

2018年のGDPがMENA最大のサウジアラビアは原油価格下落の影響を受けて2017年は▲0.9%のマイナス成長に陥った。今年にはプラス成長に戻り2020年まで2%前後の成長が見込まれている。サウジアラビアに次ぐMENAのGDP大国トルコは2016年3.2%→2017年7.4%→

2018年3.5%と高成長を続けてきたが、来年(0.4%)及び再来年(2.6%)は成長が鈍化する見通しである。

サウジアラビアを含むGCC6か国の平均成長率は2.9%(16年)→0.2%(17年)→2.5%(18年)→3.4%(19年予測)→2.9%(20年予測)と2017年を底に回復すると予測されている。同じ産油国でもイランは2016年には12.5%の高い成長を達成したが、2018年、2019年は2年連続してマイナス成長に陥り、2020年にようやく1.1%のプラス成長に回復する見通しである。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行      〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp

## MENA と世界主要国の GDP 実質成長率(2018-19年)

国名	2018年10月見通し(今回)			2018年4月見通し(前回)		前回/今回比較	
	2018年成長率(%)	2019年成長率(%)	増減	2018年成長率(%)	2019年成長率(%)	2018年成長率(%)	2019年成長率(%)
アルジェリア	2.5	2.7	0.2	3.0	2.7	▲ 0.5	▲ 0.0
バーレーン	3.2	2.6	▲ 0.7	3.0	2.3	0.2	0.3
エジプト	5.3	5.5	0.2	5.2	5.5	0.1	▲ 0.0
イラン	▲ 1.5	▲ 3.6	▲ 2.1	3.1	4.9	▲ 4.6	▲ 8.5
イラク	1.5	6.5	5.0	4.0	4.0	▲ 2.5	2.5
イスラエル	3.6	3.5	▲ 0.1	3.3	3.5	0.3	▲ 0.1
ヨルダン	2.3	2.5	0.2	2.5	2.7	▲ 0.2	▲ 0.2
クウェイト	2.3	4.1	1.7	1.3	3.8	1.1	0.2
レバノン	1.0	1.4	0.4	1.5	1.8	▲ 0.5	▲ 0.4
リビア	10.9	10.8	▲ 0.1	16.4	1.4	▲ 5.5	9.5
モロッコ	3.2	3.2	▲ 0.1	3.1	4.0	0.2	▲ 0.9
オマーン	1.9	5.0	3.2	2.1	4.2	▲ 0.2	0.9
カタール	2.7	2.8	0.1	2.6	2.7	0.1	0.1
サウジアラビア	2.2	2.4	0.2	1.7	1.9	0.5	0.5
シリア	n/a	n/a	-	n/a	n/a	-	-
チュニジア	2.4	2.9	0.5	2.4	2.9	▲ 0.0	0.0
トルコ	3.5	0.4	▲ 3.1	4.4	4.0	▲ 0.9	▲ 3.6
UAE	2.9	3.7	0.8	2.0	3.0	0.9	0.6
イエメン	▲ 2.6	14.7	17.4	▲ 0.5	17.9	▲ 2.1	▲ 3.2
(GCC6カ国平均)	2.5	3.4	0.9	2.1	3.0	0.4	0.4
全世界	3.7	3.7	▲ 0.1	3.9	3.9	▲ 0.2	▲ 0.3
EU	2.2	2.0	▲ 0.2	2.5	2.1	▲ 0.3	▲ 0.1
ASEAN-5	5.3	5.2	▲ 0.1	5.3	5.4	▲ 0.0	▲ 0.2
MENA	2.4	2.7	0.3	3.2	3.6	▲ 0.7	▲ 0.9
日本	1.1	0.9	▲ 0.2	1.2	0.9	▲ 0.1	0.0
米国	2.9	2.5	▲ 0.3	2.9	2.7	▲ 0.0	▲ 0.1
ドイツ	1.9	1.9	▲ 0.1	2.5	2.0	▲ 0.6	▲ 0.2
ロシア	1.7	1.8	0.1	1.7	1.5	▲ 0.0	0.3
中国	6.6	6.2	▲ 0.4	6.6	6.4	0.0	▲ 0.2
インド	7.3	7.4	0.1	7.4	7.8	▲ 0.1	▲ 0.3
韓国	2.8	2.6	▲ 0.2	3.0	2.9	▲ 0.3	▲ 0.3



**2018年 GDP at Current Price(2018年10月値)**

(単位:10億ドル)

順位	国名	2018年	%	2017年	増減	増減率(%)
1	サウジアラビア	770	18.5%	687	83	10.8%
2	トルコ	714	17.1%	852	▲ 138	-19.3%
3	UAE	433	10.4%	383	50	11.6%
4	イラク	430	10.3%	431	▲ 1	-0.1%
5	イスラエル	366	8.8%	351	15	4.1%
6	エジプト	249	6.0%	237	13	5.2%
7	イラン	231	5.5%	192	39	16.7%
8	アルジェリア	188	4.5%	168	21	11.0%
9	カタール	188	4.5%	167	21	11.3%
10	クウェイト	145	3.5%	121	24	16.5%
11	モロッコ	118	2.8%	109	9	7.5%
12	オマーン	82	2.0%	71	11	13.3%
13	レバノン	57	1.4%	54	3	4.5%
14	リビア	43	1.0%	31	13	29.3%
15	ヨルダン	42	1.0%	40	2	4.2%
16	チュニジア	42	1.0%	40	2	4.1%
17	バハレーン	39	0.9%	35	4	10.1%
18	イエメン	29	0.7%	31	▲ 3	-9.6%
	シリア	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a
	合計	4,164	100.0%	3,998	167	4.0%
	(GCC6カ国合計)	1,656	39.8%	1,463	193	11.7%
	全世界	84,835	100.0%	80,051	4,784	5.6%
	EU	18,769	22.1%	17,325	1,444	7.7%
	ASEAN-5	2,416	2.8%	2,317	99	4.1%
	MENA	3,461	4.1%	3,181	280	8.1%
	日本	5,071	6.0%	4,873	197	3.9%
	米国	20,513	24.2%	19,485	1,028	5.0%
	ドイツ	4,029	4.7%	3,701	329	8.2%
	ロシア	1,576	1.9%	1,578	▲ 1	-0.1%
	中国	13,457	15.9%	12,015	1,443	10.7%
	インド	2,690	3.2%	2,602	88	3.3%
	韓国	1,656	2.0%	1,540	115	7.0%

**2018年一人当たりGDP(2018年10月値)**

順位		国名	USDドル
1	Qatar	カタール	67,818
2	UAE	UAE	41,476
3	Israel	イスラエル	41,180
4	Kuwait	クウェイト	31,916
5	Bahrain	バーレーン	26,532
6	Saudi Arabia	サウジアラビア	23,187
7	Oman	オマーン	19,170
8	Lebanon	レバノン	12,454
9	Turkey	トルコ	8,716
10	Libya	リビア	6,639
11	Iran	イラン	5,793
12	Iraq	イラク	5,222
13	Algeria	アルジェリア	4,450
14	Jordan	ヨルダン	4,228
15	Tunisia	チュニジア	3,573
16	Morocco	モロッコ	3,355
17	Egypt	エジプト	2,572
18	Yemen	イエメン	926
	Syria	シリア	n/a
		GCC6カ国平均	35,017
		日本	40,106
		米国	62,518
		ドイツ	48,670
		ロシア	10,950
		中国	9,633
		インド	2,016
		韓国	32,046

## GDP 対前年伸び率(%、2018年10月値)

国名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
アルジェリア	3.2	1.4	2.5	2.7	1.8
バーレーン	3.5	3.8	3.2	2.6	2.5
エジプト	4.3	4.2	5.3	5.5	5.9
イラン	12.5	3.7	-1.5	-3.6	1.1
イラク	13.1	-2.1	1.5	6.5	3.2
イスラエル	4.0	3.3	3.6	3.5	3.3
ヨルダン	2.0	2.0	2.3	2.5	2.7
クウェイト	2.2	-3.3	2.3	4.1	4.1
レバノン	1.7	1.5	1.0	1.4	2.0
リビア	-7.4	64.0	10.9	10.8	1.4
モロッコ	1.1	4.1	3.2	3.2	3.8
オマーン	5.0	-0.9	1.9	5.0	2.7
カタール	2.1	1.6	2.7	2.8	2.6
サウジアラビア	1.7	-0.9	2.2	2.4	1.9
シリア	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a
チュニジア	1.1	2.0	2.4	2.9	3.4
トルコ	3.2	7.4	3.5	0.4	2.6
UAE	3.0	0.8	2.9	3.7	3.6
イエメン	-13.6	-5.9	-2.6	14.7	13.0
(GCC6カ国平均)	2.9	0.2	2.5	3.4	2.9
全世界	3.3	3.7	3.7	3.7	3.7
EU	2.0	2.7	2.2	2.0	1.8
ASEAN-5	4.9	5.3	5.3	5.2	5.2
MENA	5.1	2.2	2.4	2.7	3.0
日本	1.0	1.7	1.1	0.9	0.3
米国	1.6	2.2	2.9	2.5	1.8
ドイツ	2.2	2.5	1.9	1.9	1.6
ロシア	-0.2	1.5	1.7	1.8	1.8
中国	6.7	6.9	6.6	6.2	6.2
インド	7.1	6.7	7.3	7.4	7.7
韓国	2.9	3.1	2.8	2.6	2.8

## 1-B-2-12

## 世界上位20カ国とMENA 主要国の GDP(2018 年、at current price)

Rank	国名	10億ドル	%
1	米国	20,513	24.2%
2	中国	13,457	15.9%
3	日本	5,071	6.0%
4	ドイツ	4,029	4.7%
5	英国	2,809	3.3%
6	フランス	2,795	3.3%
7	インド	2,690	3.2%
8	イタリア	2,087	2.5%
9	ブラジル	1,909	2.3%
10	カナダ	1,734	2.0%
11	韓国	1,656	2.0%
12	ロシア	1,576	1.9%
13	スペイン	1,437	1.7%
14	オーストラリア	1,428	1.7%
15	メキシコ	1,199	1.4%
16	インドネシア	1,005	1.2%
17	オランダ	910	1.1%
18	サウジアラビア	770	0.9%
19	トルコ	714	0.8%
20	スイス	709	0.8%
29	UAE	433	0.5%
30	イラン	430	0.5%
34	イスラエル	366	0.4%
45	エジプト	249	0.3%
50	イラク	231	0.3%
	全世界	84,835	100.0%